

FOR IMMEDIATE RELEASE

<プレス・リリース>

配信日：2022年5月12日

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティー（JS）沖縄本土復帰 50 周年記念シリーズ

『沖縄 in フォーカス』のお知らせ

ジャパン・ソサエティー（JS）は、1972年に沖縄の施政権が米国から日本に返還されてから50周年が経過したことを記念し、2022年を通してお送りする本土復帰50周年記念シリーズ『沖縄 in フォーカス』の発表をお知らせします。沖縄の深い歴史や文化を多角的に紹介する本プログラム・シリーズ前半では、3月にはオンライントーク『コンクリートの楽園・沖縄』、先月は舞台公演部プログラムをお届けしましたが、後半も引き続き、映画、展覧会、講演会やパネルディスカッションなど、様々なプラットフォームでのダイナミックなパフォーマンスやプレゼンテーションを通して、沖縄の豊かな文化や社会にスポットライトを当てていきます。

本シリーズは、本土復帰50周年を機に、沖縄の人々、文化、そして地政学的な重要性に対する理解と認識を深めることを目的としています。沖縄出身のリーダーやアーティストの声を交えながら、現代の複雑な日米関係をさまざまな角度から紹介します。さらに、日米関係やアジア太平洋地域の安全保障における沖縄の地政学的な重要な役割を探る、ハイレベルなオピニオンリーダーによるパネルディスカッションや専門家によるウェビナーも開催されます。

ジョシュア・ウォーカーJS理事長は、「米国では多くの方が、沖縄に独自の文化、言語、歴史があることを知りません。本プログラムでは、沖縄の人々の声を含む多くの視点から、芸術、歴史、地政

学的な議論における沖縄の役割など、沖縄の文化の多様な側面を探求していきたいと考えています」と述べています。

『アメリカンビレッジの夜―基地の町・沖縄に生きる女たち』の著者であるジョンソン・アケミ氏は、「JSの沖縄の記念行事に参加できることを大変うれしく思っています。米国の占領が終わって50年、沖縄にはいまだに多くの米軍基地がありますが、多くの米国人は沖縄のことをほとんど知りません。この重要な取り組みによって、数十年にわたる米軍の駐留に対する認識を高め、これらの基地が必要であるかどうかについての会話が生まれることを願っています」と述べています。

今後予定されている『沖縄 in フォーカス』シリーズ・プログラムは以下の通りです。

映画部上映会

「沖縄のビジョン：シネマティック・リフレクションズ」

5月13日(金)～6月3日(金)

本上映会では、多様な角度から沖縄に焦点を当てた映画を紹介し、歴史的、政治的、そして文化的側面から沖縄に迫ります。1972年から1996年までの間に製作された合計5作品をJS劇場にて上映、またこのうち1作品と、1972年前後に製作されたドキュメンタリー2作品をオンラインにて上映します。本シリーズでは返還前後に製作された作品や返還後の生活を描いた作品に特化し、沖縄出身の監督作品、日本本土の製作作品、上映が稀なドキュメンタリー作品など様々な視点を紹介することで、アイデンティティーや人種、国境といった問題を取り上げます。

以下、プログラムに関しては『[沖縄 in フォーカス](#)』シリーズ・サイトにて、随時アップデートしていきます。

ビジネス・政策部ウェビナー

「The Okinawa & U.S.-Japan Security Alliance in Critical Times」

6月8日(水)午後7時00分から8時00分

ギャラリー部 2022 年秋展覧会

日程：10月開始予定

2022 年秋のギャラリー部展覧会では、沖縄出身のアーティストである石川真生氏と山城知佳子氏の作品や、沖縄発の巡回展「やんばるアートフェスティバル」の作品などを展示します。

作家が語る沖縄（仮）

日程：未定

『アメリカンビレッジの夜―基地の町・沖縄に生きる女たち』の著者であるジョンソン・アケミ氏と『Speak, Okinawa』の著者、エリザベス・ミキ・ブリーナ氏が、米軍基地関係者である父親を持つ子供たちが直面する問題などに関してのトークをおこないます。

【JSについて】

JS は、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々をつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されている JS 本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。1907 年以來、JS では「きずな（絆）」の考えのもとに、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となること、そして日米間の相互理解の促進と絆を深めることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は www.japansociety.org をご覧ください。

JS は今年、ニューヨークのランドマークである本館設立 50 周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JS が文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、絆というコンセプトを打ち出しています。

公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/japansociety](https://www.facebook.com/japansociety)

Instagram：[@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter：[@japansociety](https://twitter.com/japansociety)（英語）／[@js_desu](https://twitter.com/js_desu)（日本語）

その他、詳しい情報は弊社ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

住所 333 East 47th Street (1 Avenue と 2 Avenue 間), New York, NY 10017

最寄駅は地下鉄、4/5/6 番ライン、7 番ラインのグランドセントラル駅、あるいは E か M ラインのレキシントン街・53 丁目駅。代表電話 212-832-1155 / ウェブサイト www.japansociety.org

###